

会員の皆様へ
英文論文誌 RMB(Reproductive Medicine and Biology)
電子ジャーナル化と Asian Society of Endometriosis and
Adenomyosis(ASEA)の Official Journal 参画について

拝啓 日頃より本会ならびに **Reproductive Medicine and Biology** 誌へのご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。

前号(第 60 巻 4 号)ならびに本会ホームページ上におきまして、**Reproductive Medicine and Biology (RMB)** の電子ジャーナル化についてご報告申し上げましたが、現在、鋭意準備を開始いたしております。現状の予定では **Vol.16 No.1(2017 年 1 月発刊号)**より電子化へ移行することを目標としておりますので引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。なお、詳細は、日本生殖医学会雑誌ならびに本会ホームページ上でも随時ご案内申し上げていきたいと思いません。

また、RMB のさらなる国際的な発展について **Asian Society of Endometriosis and Adenomyosis(ASEA)** (理事長：原田 省 鳥取大学医学部産婦人科 教授) よりご高配賜り、RMB を **ASEA Official Journal** としたい旨要請がございました。これについて条件等を精査致しました上で平成 27 年度中開催の編集委員会ならびに、日本受精着床学会、日本アンドロロジー学会、本会の各学会理事会でも検討を重ねた結果、ASEA についても **RMB Official Journal** 団体として承認されましたのでご報告申し上げます。なお、**Vol.15 No.2 (2016 年 4 月発刊号)** より、**Official Journal** として **ASEA** も併記させていただくことといたしましたので発刊号をご覧くださいますと幸いです。

敬具

平成 28 年 4 月
一般社団法人日本生殖医学会
理事長 苛原 稔
編集担当理事 今井 裕